

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																									
国際映像メディア専門学校		平成19年1月9日		野沢 康彦		〒951-8063 新潟県新潟市中央区古町通6-976 (電話) 025-226-6550																									
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																									
学校法人 国際総合学園		昭和32年10月10日		池田 祥護		〒951-8063 新潟市中央区古町通二番町541 (電話) 025-210-8565																									
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																										
文化・教養	文化・教養専門課程	映画プロデュース科		-	平成20年文部科学大臣告示第15号																										
学科の目的	本校は学校教育法に基づき、生徒に対して映画、映像業界等で活躍できる専門知識・技能と社会人としての一般教養を併せて指導し、日本の基幹産業であるエンターテインメント産業を支え、日本が世界に誇れる文化を世界に発信できる人材の輩出を目的とする。																														
認定年月日	平成27年2月17日																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
4年	昼間	3433単位時間	314単位時間	408単位時間	2711単位時間	0単位時間	0単位時間																								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																										
50人	15人	0人	1人	16人	17人																										
学期制度	■1学期:4月9日～7月31日 ■2学期:9月2日～11月27日 ■3学期:12月3日～2月22日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ①出席率・授業姿勢・課題の完成度・試験結果の項目を、科目毎にシラバスに設定された割合により総合的に判定をす																										
長期休み	■学年始:4月1日～4月7日 ■夏季:8月1日～9月1日 ■冬季:12月14日～1月6日 ■学年末:2月23日～3月31日			卒業・進級条件	学科毎の必要科目の単位をすべて取得していること、修了・卒業制作評価 C 以上を取得していること、および、授業料その他納付金に未納がないこと																										
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 定期的に個別相談を実施、保護者との連携、家庭訪問、スクールカウンセリング等			課外活動	■課外活動の種類 地域・社会貢献の一環として、各種ボランティアや催事等に積極的に参加。 ■サークル活動: 無																										
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 映画業界、映像業界等 ■就職指導内容 担任によるキャリアカウンセリング、業界研究、進路セミナー、校内企業説明会、及び選考会、租税講座、年金講座、確定申告講座等 ■卒業生数: 4人 ■就職希望者数: 3人 ■就職者数: 3人 ■就職率: 100% ■卒業者に占める就職者の割合: 75% ■その他 映像制作会社でのアルバイト社員 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種目</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>word文書処理技能認定試験3級</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>Excel表計算処理技能認定試験3級</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>Power Pointプレゼンテーション能力認定試験初級</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ビジネス著作権BASIC</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>社会人常識マナー検定</td> <td>③</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 2015年11月19日 新潟市移住プロモーション動画企画(主催:新潟市) 最優美賞 油野田希			資格・検定名	種目	受験者数	合格者数	word文書処理技能認定試験3級	③	4	3	Excel表計算処理技能認定試験3級	③	4	4	Power Pointプレゼンテーション能力認定試験初級	③	4	3	ビジネス著作権BASIC	③	4	4	社会人常識マナー検定	③	4	4
資格・検定名	種目	受験者数	合格者数																												
word文書処理技能認定試験3級	③	4	3																												
Excel表計算処理技能認定試験3級	③	4	4																												
Power Pointプレゼンテーション能力認定試験初級	③	4	3																												
ビジネス著作権BASIC	③	4	4																												
社会人常識マナー検定	③	4	4																												
中途退学の現状	■中途退学者 0名 平成31年4月1日時点において、在学者16名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者16名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 該当者なし			中退率	0%																										
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 特待生入試制度…入学選考時の面接・実技・書類審査にて、1年次の年間学費全額、又は一部免除 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																														
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																														
当該学科のホームページURL	https://www.i-media.cc/movie-produce																														

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

業界が求める人材育成を行うため、関係企業・団体等との連携を持ち教育の精度を高めていく。連携する企業・団体等については、業界において常に高いクオリティを維持し、なお且つ教育連携を通して学修成果を確認、指導ができる指導者の派遣が可能な企業・団体等を選定する。連携企業・団体等と課題成果、授業日誌、授業アンケート等を基に協議を行い、業界で求められる能力を明確化し、カリキュラム策定に活かしていく。また、連携企業・団体等への見学やインターンシップの取り組みも随時、検討・実施していく。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は本校教務部のもとにおく。学科の教育課程の編成にあたっては教育課程編成委員会の意見を活用する。

委員会の議長は本校副校長等教育課程編成の責任者とする。委員は業界全体の動向に関する知見を有する有識者、及び、実務に関する知識、技術、技能についての知見を有する企業・団体等の役職員を含むものとする。

教育課程編成委員会関係者会議にて審議された内容については、学内委員にて審議内容を検討し妥当性が認められるものについては、授業内容に反映させるものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
高橋 由美	(学)国際総合学園 国際映像メディア専門学	※1	
朝倉 隆司	(学)国際総合学園 国際映像メディア専門学	※1	
広川 一義	(学)国際総合学園 国際映像メディア専門学	※1	
宮城 庄吾	(学)国際総合学園 国際映像メディア専門学	※1	
ナシモトオ	株式会社サニー&レイ	※1	③
藤原 慎二	株式会社ハビッツ	※1	③
小峯 睦男	有限会社アペックス、株式会社オールウェイズ	※1	③
星 龍雄	新潟県フィルムコミッション協議会	※1	①

※1 任期は特に設けず、年度末時点で異動・退職・その他諸事情により、委員辞任の申し出が無い場合は、年度毎に自動的に継続するものとする。

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

・年2回以上(4月、2月)

・授業、OJT等の実施前、実施後に関係者会議を開催

(開催日時(実績))

第1回 平成31年 4月4日 10:30～12:00

第2回 令和元年2月22日 16:00～18:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

高度な撮影テクニックや機材の使用法よりも、現場におけるコミュニケーション能力の高さや人間力の方が重要である。授業において、社会人常識やコミュニケーションに関する科目を強化し、さらに、普段の学校生活においても挨拶、連絡、相談、報告を徹底するよう努めている。また、Webにおいて動画はより重要な位置づけになっている。自身の作品を積極的にWeb上で公開することで、自身の作品が人に見られている意識を持たせるようにしている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

原則として、「学内での実習・演習」に関しては、学校ガイドラインを優先し、「学外の作品制作現場でのOJT」に関しては、業界のルールを優先することとするが、相互の学生情報フィードバックをもとに、教育・企業双方から互いに改善策を提示し合うことを前提とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

授業内容・実施方法・実施時期等に関しては、添付資料「教育課程編成委員会等の企業等の委員承諾書」に準ずる。委員内で協議・検討した内容を反映させたカリキュラム・教育連携により、教育効果・学習成果が効果的に習得できているかを作品添削を通し確認し、結果を学生へのフィードバック及び、カリキュラム策定の材料としている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
修了制作(1年次)	1年次に習得した知識と技術を活用し、1年次の集大成として映像作品制作を行う。	株式会社ハビッツ 有限会社アベックス
修了制作(2年次)	2年次に習得した知識と技術を活用し、2年次の集大成として映像作品制作を行う。	株式会社ハビッツ 有限会社アベックス
修了制作(3年次)	3年次に習得した知識と技術を活用し、3年次の集大成として映像作品制作を行う。	株式会社ハビッツ 有限会社アベックス
卒業制作	在学期間中に習得した知識と技術を活用し、4年間の集大成として映像作品制作を行う。	株式会社ハビッツ 有限会社アベックス
照明演習 I	照明機材を駆使し実習を通して、映像表現における照明の役割・重要性を理解する。	株式会社ハビッツ 有限会社アベックス

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
「職員の教育・研修に関する細則」中、「第2条(3) 専門分野の知識・技術に関するもの」に関し、該当学科の常勤講師は、最新の業界動向を把握し、より実務に即した改善をカリキュラムに反映できるよう、自らも学生OJTに随行する形で、外部制作現場に積極的参加することとする。
その他、一般的な指導研修として、就職実務系の研修への定期開催を実施すること。

(2) 研修等の実績

- ① 専攻分野における実務に関する研修等
添付「令和元年度 国際映像メディア専門学校 教員研修実績」参照
- ② 指導力の修得・向上のための研修等
添付「令和元年度 国際映像メディア専門学校 教員研修実績」参照

(3) 研修等の計画

- ① 専攻分野における実務に関する研修等
令和元年度実績相当の研修への参加、および、映画監督・企業来校時における業界説明・情報交換会を実施、最新の業界情報、今後の動向予測を共有をはかる。
現場の撮影、公演舞台の制作現場の見学。
- ② 指導力の修得・向上のための研修等
令和元年度実績相当の研修への参加、また、月に1回以上の学内研修の実施。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

専門学校の教育の質の向上を図り、学校運営の健全性、透明性、信頼性を高めるため、学生、学校教職員、学生保護者、専門分野企業、業界団体から委員が参画し、第三者評価を実施し、同時に学校情報の公開に取り組み、専門学校に対する社会的・業界的な信頼を高めることを目指す。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 学校の概要、目標
(2) 学校運営	(2) 運営方針、組織の意思決定等
(3) 教育活動	(3) 教育理念、人材育成像、カリキュラム等
(4) 学修成果	(4) 就職率、退学率、卒業生動向の把握等
(5) 学生支援	(5) 支援体制、健康管理、職業教育の取り組み等
(6) 教育環境	(6) 学習環境整備、防災体制等
(7) 学生の受入れ募集	(7) 募集活動等
(8) 財務	(8) 財務、予算収支、監査、公開準備等
(9) 法令等の遵守	(9) 設置法令順守、個人情報管理、自己評価等
(10) 社会貢献・地域貢献	
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校運営の改善を図るため、評価結果を書面でまとめ、ホームページでの公開を実施。学校関係者評価委員会会議にて、自己評価も妥当であり、学校関係者評価の基本方針に則った学校運営が行われているという評価を頂いた。また、認定学科についての評価等の意見はありませんでした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
藤原 慎二	株式会社ハピッツ	※1	企業等委員
小峯 睦男	有限会社アペックス、株式会社オールウェイズ	※1	企業等委員
星 龍雄	新潟県フィルムコミッション協議会	※1	企業等委員

※1 任期は特に設けず、年度末時点で異動・退職・その他諸事情により、委員辞任の申し出が無い場合は、年度毎に自動的に継続するものとする。

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

公表方法…自校ホームページ 公表時期…毎年7月に公開

<https://www.i-media.cc/information>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

映画、映像等関連業界の連携による本当の意味での「即戦力」となる学生輩出に焦点を定め、業界関係者に対する「学校理解」を求め、双方からの歩み寄りにより、業界、学校の双方にとってより実践的な学習環境を実現できることを目指す。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	(1) 学校の概要、目標
(2) 各学科等の教育	(2) 各位学科の教育
(3) 教職員	(3) 教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	(4) 実習への取組状況、就職支援への取組状況
(5) 様々な教育活動・教育環境	(5) 学校行事への取組状況・課外活動
(6) 学生の生活支援	(6) 学校の支援
(7) 学生納付金・修学支援	(7) 学生納付金・就学支援
(8) 学校の財務	(8) 学校の財務
(9) 学校評価	(9) 学校評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

公表方法…自校ホームページ

<https://www.i-media.cc/information>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程映画プロデュース学科) 令和元年度																
必 修	分類		授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携	
	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
1	○		撮影	機材の使い方、メンテナンスなど技術的なことを中心に実習を通して撮影の基礎技術を習得する。	1通	51				○	○	○	○	○		
2	○		撮影	機材の使い方、メンテナンスなど技術的なことを中心に実習を通して撮影の基礎技術を習得する。	2通	51				○	○	○	○	○		
3	○		撮影	機材の使い方、メンテナンスなど技術的なことを中心に実習を通して撮影の基礎技術を習得する。	3通	51				○	○	○	○	○		
4	○		撮影	機材の使い方、メンテナンスなど技術的なことを中心に実習を通して撮影の基礎技術を習得する。	4通	51				○	○	○	○	○		
5	○		シナリオⅠ	シナリオの型を学習し、ストーリーやプロットを学生自身で考えられるようにする。	1通	51		△		○	○			○		
6	○		シナリオⅡ	中編・長編制作オリジナルシナリオを完成させる。原稿用紙200枚程度(おおよそ100分)の長さのオリジナルシナリオを完成させる。	2通	51		△		○	○			○		
7	○		シナリオⅡ	中編・長編制作オリジナルシナリオを完成させる。原稿用紙200枚程度(おおよそ100分)の長さのオリジナルシナリオを完成させる。	3通	51		△		○	○			○		
8	○		シナリオⅡ	中編・長編制作オリジナルシナリオを完成させる。原稿用紙200枚程度(おおよそ100分)の長さのオリジナルシナリオを完成させる。	4通	51		△		○	○			○		
9	○		照明基礎演習	1. 照明機材の名前、種類、扱い方を学ぶ 2. 基本的な照明設計の考え方を学ぶ 3. 様々なシチュエーションの照明を作る	1通	51			○		○	○			○	○
10	○		照明基礎演習	1. 照明機材の名前、種類、扱い方を学ぶ 2. 基本的な照明設計の考え方を学ぶ 3. 様々なシチュエーションの照明を作る	2通	51			○		○	○			○	○
11	○		照明基礎演習	1. 演出に応じた照明設計の考え方を学ぶ 2. 様々なシチュエーションの照明を作る 3. 短編～中編映像を制作する	3通	51			○		○	○			○	○
12	○		照明基礎演習	1. 演出に応じた照明設計の考え方を学ぶ 2. 様々なシチュエーションの照明を作る 3. 短編～中編映像を制作する	4通	51			○		○	○			○	○
13	○		音響・音声基礎	1. 音響機材の使用法、名前を覚える 2. 各種ケーブルの取り扱い、取り回しを学ぶ 3. 録音機材を使用し、収録した音声を整音する	1通	34				○	○	○			○	
14	○		音響・音声基礎	1. 様々な演出に応じた音の効果を学ぶ 2. 録音機材を使用し、収録を行う 3. 収録した音声を整音する	2通	51				○	○	○			○	

	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
15	○			音響・音声基礎	1. 様々な演出に応じた音の効果を学ぶ 2. 録音機材を使用し、収録を行う 3. 収録した音声を整音する	3通	51			○	○	○			○	
16	○			音響・音声基礎	1. 様々な演出に応じた音の効果を学ぶ 2. 録音機材を使用し、収録を行う 3. 収録した音声を整音する	4通	51			○	○	○			○	
17	○			映像編集実習	1. Macintoshの操作方法を知る 2. Final Cut Proの操作方法を学ぶ 3. Final Cut Proで映像制作を行う	1通	51			○	○				○	
18	○			映像編集実習	1. Final Cut Proの効率的な編集方法を学ぶ 2. ドローンを使用した空撮実習 3. 他の技術パートとの関連性を学ぶ	3通	51			○	○	○			○	
19	○			映像編集実習	1. Final Cut Proの効率的な編集方法を学ぶ 2. ドローンを使用した空撮実習 3. 他の技術パートとの関連性を学ぶ	4通	51			○	○	○			○	
20	○			美術	映画・テレビの演出、世界観に合わせたセットや小道具の制作、及び手配の手法を習得する。	2通	51			○	○	○			○	
21	○			美術	映画・テレビの演出、世界観に合わせたセットや小道具の制作、及び手配の手法を習得する。	3通	51			○	○	○			○	
22	○			美術	映画・テレビの演出、世界観に合わせたセットや小道具の制作、及び手配の手法を習得する。	4通	51			○	○	○			○	
23	○			メイク	映像や舞台に特化したメイクの種類およびメイクの基本を習得する。	1通	34			○	○				○	
24	○			メイク	映像や舞台に特化したメイクの種類およびメイクの基本を習得する。	2通	34			○	○				○	
25	○			メイク	映像や舞台に特化したメイクの種類およびメイクの基本を習得する。	3通	34			○	○				○	
26	○			メイク	映像や舞台に特化したメイクの種類およびメイクの基本を習得する。	4通	34			○	○				○	
27	○			ビジネス著作権	著作権についての基礎知識を習得する。	2通	18			○		○			○	
28	○			Word検定	ワードの基礎知識、基本操作を習得し、Word文書処理技能認定試験3級合格を目標とする。	1通	54			△		○	○		○	

	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
29	○			Excel検定	Excel基本操作を習得し、Excel表計算処理技能認定試験3級合格を目標とする。	2通	54		△	○	○	○				
30	○			コミュニケーション	社会人に向けてのコミュニケーション能力の必要性を理解し、仕事などの場で、人間関係を構築出来る知識を得る。	1通	17		○	○	○	○				
31	○			修了制作	1年次に習得した知識と技術を活用し、1年次の集大成として映像作品制作および上映を行う。	1通	120		△	○	○	○	○	○	○	○
32	○			修了制作	2年次に習得した知識と技術を活用し、2年次の集大成として映像作品制作および上映を行う。	2通	120		△	○	○	○	○	○	○	○
33	○			修了制作	3年次に習得した知識と技術を活用し、3年次の集大成として映像作品制作および上映を行う。	3通	120		△	○	○	○	○	○	○	○
34	○			卒業制作	在学期間中に習得した知識と技術を活用し、4年間の集大成として映像作品制作上映を行う。	4通	120		△	○	○	○	○	○	○	○
35	○			映像演出演習	映像演出の概念、シナリオからテーマ・登場人物の関係を理解し、表現方法のアレンジ、強調・演出の付け方・説明的な表現の排除等を実践する。	1通	51		△	○	○	○	○			
36	○			映画演出実習	映像演出の概念、シナリオからテーマ・登場人物の関係を理解し、表現方法のアレンジ、強調・演出の付け方・説明的な表現の排除等を実践する。	2通	51		△	○	○	○	○			
37	○			映画演出実習	映像演出の概念、シナリオからテーマ・登場人物の関係を理解し、表現方法のアレンジ、強調・演出の付け方・説明的な表現の排除等を実践する。	3通	51		△	○	○	○	○			
38	○			映画演出実習	映像演出の概念、シナリオからテーマ・登場人物の関係を理解し、表現方法のアレンジ、強調・演出の付け方・説明的な表現の排除等を実践する。	4通	51		△	○	○	○	○			
39	○			映画批評	それぞれの時代の映画監督が、多種多様な創造性を発揮して新しい表現方法を発見していったのかを知り、自分の作品制作に活かす事を目指す。	2通	51				○	○			○	
40	○			映画批評	それぞれの時代の映画監督が、多種多様な創造性を発揮して新しい表現方法を発見していったのかを知り、自分の作品制作に活かす事を目指す。	3通	51				○	○			○	
41	○			映画批評	それぞれの時代の映画監督が、多種多様な創造性を発揮して新しい表現方法を発見していったのかを知り、自分の作品制作に活かす事を目指す。	4通	51				○	○			○	
42	○			PhotoShop	Photoshopを使用し、番組テロップ、映画ポスターの作成を行う	1通	34		△	○	○			○		
43	○			映画・映像制作	1. シナリオ制作を行う 2. 各授業で学んだ技術を総合的に使用してみる 3. グループワークで1つの映像作品を完成させ	1通	51		△	○	○	○			○	

	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
44	○			映画・映像制作	1. シナリオ制作を行う 2. 各授業で学んだ技術を総合的に使用してみる 3. グループワークで1つの映像作品を完成させ	2通	51		△	○	○	○			○	
45	○			映画・映像制作	1. シナリオ制作を行う 2. 各授業で学んだ技術を総合的に使用してみる 3. グループワークで1つの映像作品を完成させ	3通	51		△	○	○	○			○	
46	○			映画・映像制作	1. シナリオ制作を行う 2. 各授業で学んだ技術を総合的に使用してみる 3. グループワークで1つの映像作品を完成させ	4通	51		△	○	○	○			○	
47	○			映像概論	撮影機材の名称及び使用方法を覚え、撮影前後の機材チェックやメンテナンス、機材収納の整理整頓等、責任ある機材管理を身に付ける	1通	17		△	○	○				○	
48	○			映像概論	映像原理及びカメラ構造、レンズ特性を理解した上でカメラオペレーティングを行い、自分が創造したイメージを正確に映像化する技術を身に付ける	2通	17		△	○	○				○	
49	○			異文化(海外)研究	グローバル人材の育成、及び映画・映像作品制作における多様性の強化。	4・2	38		△	○	○	○	○	○	○	
50	○			映像舞台制作実習	各自、これまで学んだことを基本に、前期授業の集大成として企画から映像作品制作および上映会を実施する	1通	114		△	○	○	○			○	
51	○			映像舞台制作実習	各自、これまで学んだことを基本に、前期授業の集大成として企画から映像作品制作および上映会を実施する	2通	94		△	○	○	○			○	
52	○			映像舞台制作実習	各自、これまで学んだことを基本に、前期授業の集大成として企画から映像作品制作および上映会を実施する	3通	132		△	○	○	○			○	
53	○			映像舞台制作実習	各自、これまで学んだことを基本に、前期授業の集大成として企画から映像作品制作および上映会を実施する	4通	102		△	○	○	○			○	
54	○			社会人常識マナー検定	一般常識、ビジネスマナー等、講義を通して知識を習得、社会人常識マナー検定3級取得を目指す	1通	17		○			○		○		
55	○			演技・映像業界研究	映像制作会社、映画監督等を中心とした現役特別講師を招いての授業およびワークショップ等を実施。	1・1	30		○			○	○	○	○	
56	○			演技・映像業界研究	映像制作会社、映画監督等を中心とした現役特別講師を招いての授業およびワークショップ等を実施。	2・1	45		○			○	○	○	○	
57	○			演技・映像業界研究	映像制作会社、映画監督等を中心とした現役特別講師を招いての授業およびワークショップ等を実施。	3・1	45		○			○	○	○	○	
58	○			演技・映像業界研究	映像制作会社、映画監督等を中心とした現役特別講師を招いての授業およびワークショップ等を実施。	4・1	45		○			○	○	○	○	

分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
59	○			映像・声優・俳優専攻ゼミ	舞台・俳優等アクターを交えた幅広い専門性を持つ現役特別講師を招いての授業およびワークショップ等を実施。	1・2-3	29		○			○	○	○	○	
60	○			映像・声優・俳優専攻ゼミ	舞台・俳優等アクターを交えた幅広い専門性を持つ現役特別講師を招いての授業およびワークショップ等を実施。	2・2-3	29		○			○	○	○	○	
61	○			映像・声優・俳優専攻ゼミ	舞台・俳優等アクターを交えた幅広い専門性を持つ現役特別講師を招いての授業およびワークショップ等を実施。	3・2-3	29		○			○	○	○	○	
62	○			映像・声優・俳優専攻ゼミ	舞台・俳優等アクターを交えた幅広い専門性を持つ現役特別講師を招いての授業およびワークショップ等を実施。	4・2-3	29		○			○	○	○	○	
63	○			実践行動学	振り返り、グループディスカッション等を通して将来に対する目標設定・プラス思考・働くことへのモチベーション向上をはかる	1・1	18				○	○		○		
64	○			総合イベント演習	映画以外の映像・舞台・コンサート等のエンターテインメント作品を幅広く分析し、また、映画祭やイベントに参加し、卒業後に活かす人脈作りを図る。	1通	36		△			○	○	○	○	
65	○			総合イベント演習	映画以外の映像・舞台・コンサート等のエンターテインメント作品を幅広く分析し、また、映画祭やイベントに参加し、卒業後に活かす人脈作りを図る。	2通	36		△			○	○	○	○	
66	○			総合イベント演習	映画以外の映像・舞台・コンサート等のエンターテインメント作品を幅広く分析し、また、映画祭やイベントに参加し、卒業後に活かす人脈作りを図る。	3通	36		△			○	○	○	○	
67	○			総合イベント演習	映画以外の映像・舞台・コンサート等のエンターテインメント作品を幅広く分析し、また、映画祭やイベントに参加し、卒業後に活かす人脈作りを図る。	4通	36		△			○	○	○	○	
合計					67科目	単位時間(3,433単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
3,432単位時間中80%以上の出席を単位認定対象者とし、満たない場合は有料の補習、および追試・追課題の提出を持って単位認定とし、進級・卒業に関しては、全科目単位取得の上、修了・卒業制作の提出を持って進級・卒業認定を行う。	1学年の学期区分	3期
	1学期の授業期間	8週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

(添付資料)

令和元年度 国際映像メディア専門学校【映画プロデュース科】 教員研修実績

No	氏名	所属	役職等	内外別	研修名	研修先	内容	期間	備考
1	広川一義	教務部	学科長	外部	日本セルビア映画祭・ にいがた国際映画祭	クロスバールにいがた	映画制作者、映画祭関係 者との意見交換会および 懇親会参加。	5月28日(火) 6月1日(土)	専門分野
2	高橋由美	教務部	副校長	外部	にいがたロケネット 2019年度総会	国際映像メディア専門学校	新潟市内におけるフィル ムコミッション事業に対 する意見交換会	7月27日(土)	専門分野
3	朝倉隆司	教務部	教務部長	外部	令和元年度「教職員研 修会」(進路セミ ナー)	ラマダホテル新潟	「命の授業」をテー マに、生きる力・前に進む 力を育成する教育を考え る教員向け研修	11月7日(木)	教務環境 (指導力 向上)
4	高橋由美	教務部	副校長	外部	VTuber最前線～VTuber の最新事情と支える技 術の紹介	富士フィルム西麻布本社 ホール	1万人を超え、インター ネットだけでなくテレビ 番組やイベント会場でも 活躍するようになった VTuberの最新事情とそれ を支える技術についての シンポジウム	10月17日(木)	専門分野
5	広川一義	教務部	学科長	外部	『1987デジタル革命～ デジタルコンテンツの 起源』	DCEXPO ステージ(幕張メッ セーホール5)	中島信也氏によるデジタ ルコンテンツの商用展開 のはじまりから映像制作 手法の変遷、未来を担う クリエイターへの提言等	11月14日(木)	専門分野